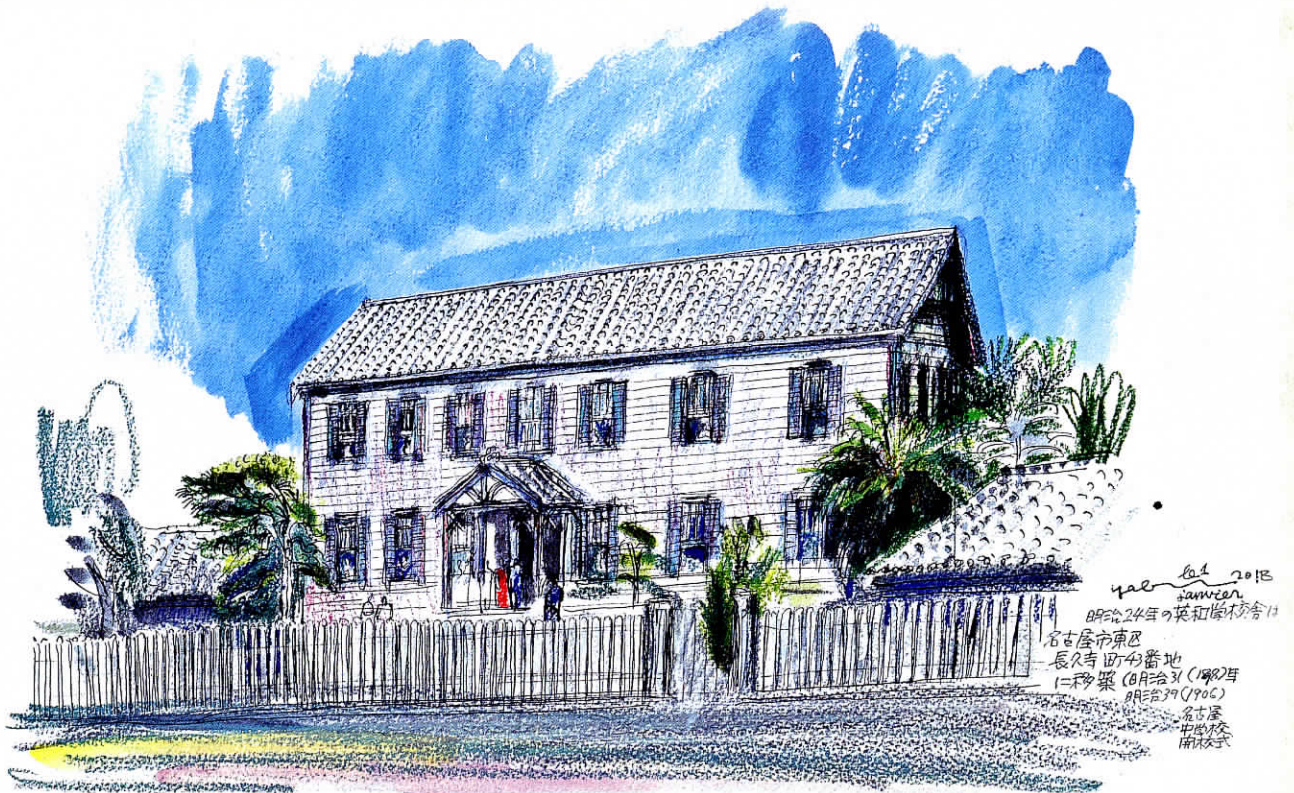


教 愛

第 58 号

KEIAI VOL.58



❖ 国公立大学に175名が見事合格!!
2018年大学入試 合格状況

❖ 活躍の裾野が広がる部活動

❖ 重ねるごとに深まる、揺るぎない絆
同期と語らう年次会

❖ 多彩な分野で輝く学友たち
活躍する同窓生

❖ 2018年度 名古屋学院 主題聖句
「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」
ローマの信徒への手紙 第12章12節

私たちの名古屋学院「敬愛同窓会」は、明治四十二年に発足し、今年で一〇九年目を迎えることが出来ました。これもひとえに今日までの会員の皆様をはじめとする関係各位の永年に亘る熱心なご支援、ご協力



敬愛同窓会会長
安井俊夫
(昭和31年卒)

「世界を友として」

の賜と心より御礼申し上げます。
本同窓会は、発足以来四万人を超える卒業生を今日までに受け入れ、現在も二万五千人の会員を擁し、県下でも活気のある同窓会として活動を展開しています。

百年を超える本同窓会の歩みの中で、政界、経済界、学会、官界など国や地域で活躍する有為な人材を数多く社会に送り得たことは、本同窓会としても大きな誇りであり、ます。今後はこれまでの伝統を踏まえて、急激な国際化に対応し得るグローバルな人材育成を図るため、語学教育や国際交流の指導など国際色豊かな教育実践校としてより積極的な教育を展開することにより、かつて英語の名中と称賛された時代への回帰は言うまでもなく、国際的なより様々な分野に積極的なチャレンジ精神を身につけ活躍する同窓が多くなることを期待しています。

こうした国際化への取り組みとしては、名中の大先輩(大正五年卒)で最高裁判所長官を務められた横田喜三郎先生が、昭和三十五年に竣工もない大幸町(現在の砂田橋)のチャペルで講演された際に、後輩達へ贈る言葉を「世界を友として」と揮毫された。現在の社会において最も必要とされていることへの、先駆的な問題提起であり、大先輩からの二十一世紀に生きる私達へのメッセージとして改めて銘記すべきものではないでしょうか。なかでも大切なことは、平和であります。しかも日本だけではなく、世界の平和。そのために国や地域、人種や宗教などの枠を超えて様々な分野でグローバルに活躍する同窓が多くなることを願うこの頃です。

花散れど平和散るなど日々祈る

俊夫



ご挨拶

友人と誘い合って積極的に参加しましょう。

平成30年度 敬愛同窓会本部總會のご案内

日時 **6月9日(土)** 場所 **キャッスルプラザ(名駅前)**
(4F 梓の間) TEL.052-582-2121

出席の葉書は6月2日(土)までにご投函下さい。 TEL・FAXでも申込み可能です。
TEL 052-722-2835 ・ FAX 052-722-2838

- 一部** 総会 17:00から(受付開始16:30)
- 二部** 講演会 17:30から
演題 「21世紀型の学び」
もりた ゆうじ
講師 森田 祐二氏
名古屋中学・高等学校 校長
- 三部** 懇親会 18:50から(講演会終了後)
会費 10,000円
(大学生は5,000円)



森田 祐二氏

**入試相談
コーナーを開設!**
18:50頃から

敬愛同窓会では学院・入試広報部の協力を得て、来年春に名古屋中学校・名古屋高等学校への入学を希望するお子さん・お孫さんをお持ちの同窓生を対象にした入試相談コーナーを本年度も懇親会場の一角に開設します。相談ご希望の方は返信用葉書の入試相談コーナー参加希望の欄に○印をお付けください。ご希望の方は懇親会にもご出席下さい。

「希望と忍耐と 祈りの日々を生きる」



学校法人
名古屋学院学院長
小林 光

2018年度を迎えました。本学院の建学の精神である「敬神愛人」を名冠とする敬愛同窓会の皆様のご活動を心より感謝いたします。愛する母校のために尽くし、多くの卒業生たちを結ぶ尊いお働きが益々神さまによって祝福されますようにお祈りい

たします。

さて、今年度の主題聖句は、ローマの信徒への手紙 第12章12節「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」です。クライン・メモリアルチャペルの講壇の正面にこの御言葉が大きく掲げられ、一年間、礼拝、式典、諸行事の際に一人一人の心に刻まれることでしょうか。もちろん、各教室や会議室にもこの御言葉が掲げられます。

「希望をもって喜ぶ」ことができるのは、明日という日は私たちには分からなくとも、神さまはご存知であり、ご計画をもって私たちの歩みを、本学院の進むべき道を導いてくださると信じるからです。私たちの罪を赦すために、独り子イエスキリストを十字架にかけらるほどまでに、私たちが愛して下さる神さまに期待する時に、決して明日を悲観せず、暗闇の先に必ず光があることを信じて、日々

を生きることができるとです。

「苦難を耐え忍ぶ」ことができるのは、イエスキリストの十字架の苦しみが私たちのどん底での支えとなるからです。弟子たちに裏切られ、神さまにも見捨てられ、同じ死刑囚からも罵られ、傷だらけになつてなお、「父よ、彼らを赦したまえ」と祈られたキリストが、私たちの苦難を知り尽くしてくださり、その苦難の重荷を私たちごと、丸ごと背負ってくださると信じるからです。私たちはキリストに背負われて、人生を生きるので。

「たゆまず祈る」ことができるのは、本学院で覚えた『主の祈り』を知っているからです。どう祈ったらよいのかわからない時も、主の祈りをゆつくりと、言葉をかみしめて心静かに祈る時、あなたは神さまとつながり、神さまから慰めと平安が与えられることでしょうか。

宗教を学ぶということ



名古屋中学校・
高等学校校長
森田 祐二

名古屋中学校・高等学校のルーツとなる名古屋英和学校（愛知英語学校）は、130年前にわずか12名の生徒で始まった学校です。宗教を教育の中心におき、英語・国漢・数学など、午前は日本語、午後は英語で講義が行われていました。国・漢以外の教科書は洋書

が用いられていたとのこと。ただ当時は聖書による宗教教育が県から認められず、クライン校長は伊藤博文（当時の外務大臣）に直訴状をしたため、なんとか正式に学校設置認可を取り付けたようです。

以来130年に渡つて名古屋中学・高等学校では聖書の授業が行われ、礼拝が守られています。聖書の授業では、キリスト教はもちろんのこと、他の宗教、イスラム教、ヒンズー教、仏教などについても学ぶ機会があり、宗教そのものの考え方を理解できるようになります。

日本でもグローバル化が進む現在、異なる価値観を持つ、多様な文化・背景を持つ人々と、協働で学ぶ機会が増えています。このグローバル社会で生きていくためには、世界に出て行くためには、世界が宗教を中心に動いていることを理解しなければなりません。中東

情勢然り、欧米各国の行動規範然り、経済論理もそうでしょう。世界の動きは宗教の知識を踏まえないければ、その本質が分かりません。世界を知るためには宗教を知らなければならぬのです。経済誌などでは、宗教を学ばないビジネスマンはグローバル社会で成功できない、という記事も目にします。宗教を知らずして、グローバル社会では生きていけないということでしょうか。

宗教を学ぶということは、英語を学ぶことと同じように重要かつ喫緊の課題なのです。

名古屋中学校・高等学校ではその両方を深く学ぶことができます。クライン校長が名古屋英和学校を創立した時の教育理念（宗教・英語）が、開校から130年が経つた現在、さらに社会から必要とされる資質能力となつていくわけですね。

ぜひ皆様のご子弟をお預けください

学校法人 名古屋学院

名古屋中学校
名古屋高等学校

理事長 丹羽 太一（昭41年卒）
学院長 小林 光
校長 森田 祐二

☎461-8676 名古屋市東区砂田橋2-1-58 電話 052(721)5271
<http://www.meigaku.ac.jp/>



部活動報告

生活指導部長 宮尾英俊

運動部では、中学高校テニス、高校陸上競技、水泳、馬術、自転車競技、文化部では、高校文学部、JRC部が全国大会に出場した。

【中学テニス部】

第45回全国中学生テニス選手権大会(8月) ※13年連続23回目の出場

団体戦 1回戦敗退
個人戦ダブルス 第3位

高田順平(3年) 宮地吾侑(2年) 組

愛知県中学新人テニス大会(団体戦は全国選手権選(11月))

団体戦 優勝
個人戦シングルス 優勝 宮地吾侑(中2)

個人戦ダブルス 第3位

宮地伏見組(中2)

東海地区中学生新人テニス大会(団体)兼 全国選抜中学校テニス大会予選(12月)

団体戦 第3位 全国選抜大会の出場が決定

【高校テニス部】

全国高等学校総合体育大会(8月)

団体戦 ベスト16

個人戦シングルス ベスト32 石博元晴(5年)

個人戦ダブルス ベスト64 高羽 進(5年)

個人戦ダブルス ベスト32

三上和馬(6年) 鈴木悠太(5年) 組

石博元晴(5年) 高羽 進(5年) 組

愛知県高等学校新人体育大会(9月)

団体戦 優勝(3年連続26回目)

個人戦シングルス 準優勝 石博元晴(5年)

個人戦ダブルス 第3位 鈴木悠太(5年)

個人戦ダブルス 優勝

石博元晴・高羽 進組

鈴木悠太 宮本貴太郎(5年) 組

第3位

坂本諒太郎(5年) 林 航平(4年) 組

愛媛国体 テニス岐阜県代表(10月)

第3位(岐阜県) 本校から5年生の石博元晴、岐阜市在住) が出場

全国選抜東海地区大会団体戦(11月)

優勝(2年ぶり11回目)の東海制覇

春休みの第40回全国選抜高校テニス大会への25年連続30回目の出場が決定

JOCジュニアオリンピックカップ

第38回全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会(11月) 第4位 高羽 進(5年)

【高校陸上競技部】

全国高等学校総合体育大会陸上競技対校選手権(8月)

4×100mリレー 予選敗退

伊藤彰海(5年)、飯田英夫(6年)、城戸宏規(6年)、若堀剛己(4年)

U18日本陸上競技選手権大会(10月)

110mハードル 予選敗退

若堀剛己(4年)

4×100mリレー 予選敗退

伊藤彰海(5年)、若堀剛己(4年)、加藤敦詞(5年)、富田泰理(4年)

伊藤彰海(5年)

【高校ラグビー部】

第71回愛知県総体ラグビーフットボール競技(6月)

第4位

第97回全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会(11月)

第3位

第13回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会(8月)

(参加選手) 渡邊元樹(5年)、松原大貴(5年)

愛媛国体 ラグビー(愛知県選抜10月) 第3位

本校からは6年生の三浦晋由、橋本和磨、谷川司君が出場

全国高等学校ラグビーフットボール大会愛知県大会(11月)

第3位

【高校サッカー部】

第71回愛知県高等学校総合体育大会サッカー競技(5月)

ベスト8

全国高校サッカー選手権大会愛知県大会(11月)

ベスト8

【高校水泳部】

全国高等学校総合体育大会(8月)

(参加選手) 15名

200m自由形 13位

鶴田宙也(6年)

400mフリースタイル 13位

鶴田宙也(6年) 相羽康平(5年) 木下大和

永井翔太(4年) 14位

800mフリースタイル

鶴田宙也 永井翔太 木下大和 森一爽(4年)

13位

400mメドレーリレー

日下部航 奥村拓真(6年) 相羽康平 鶴田宙也 16位

愛媛国体(9月)

400mメドレーリレー

第7位 高橋篤広、木下大和 他校生徒

2名

800mフリースタイル

第5位 鶴田宙也 他校生徒3名

【自転車競技部】

愛知県新人体育大会、兼全国高等学校選抜自転車競技大会愛知県予選自転車ロード競技(11月)

優勝 小林佑一朗(5年) 全国大会出場

馬優勝 原田玲於(5年) 全国大会出場

【美術部】

第28回全日本高等学校馬術選手権大会(8月)

(参加選手) 岡田誠(6年)

【中国文学部】

第7回富士正晴全国高等学校文芸誌賞(文芸誌甲子園)(3月)

優秀賞「文学帳」第8号

全国高校生文学賞奨励賞

【祖父との日々】 横山栄介(6年)

第20回 高校生全国俳句選手権大会(俳句甲子園) 優勝 瀬戸雅裕(6年)、北口直敬(6年)、横山栄介(6年)、小林空(4年)、難波朔矢(4年)

園地方大会名古屋会場(6月)

優勝 瀬戸雅裕(6年)、北口直敬(6年)、横山栄介(6年)、小林空(4年)、難波朔矢(4年)

最優秀賞 難波朔矢

第20回 全国高等学校俳句選手権大会(俳句甲子園)(8月) 四年連続全国大会出場

(参加選手) 瀬戸雅裕(6年)、北口直敬(6年)、横山栄介(6年)、小林空(4年)、難波朔矢(4年)

愛知県高等学校文化連盟文芸部作品コンクール(11月)

俳句部門 第一席 牛田大貴(5年)

第二席 細井淳平(5年)

文芸部誌部門 第一席「文学帖」

俳句部門は2年連続入賞、文芸部誌部門は「文学帖」創刊以来9年連続入賞、4回目の第一席となります。来夏の全国高等学校総合文化祭の出場が決定。

図書館振興財団主催 図書館を使った調べる学習コンクール 図書館を使った調べる学習コンクール(12月)

優秀賞 名古屋は古典文学で中心に立てたのか(富田孝太郎(3年)、石黒真斗(3年)、櫻井佑馬(3年) 全国コンクール)

図書館振興財団主催 図書館を使った調べる学習コンクール(12月)

優秀賞 活字文化推進会議賞 小林空(4年)

第32回全国高等学校文芸コンクール(6月)

短歌部門 優良賞 北口直敬(6年)

俳句部門 入選 新家功大(5年)

文芸部誌部門 奨励賞 部誌「文学帖」

本コンクールは、高校生対象の文芸コンクールとしては最大のものであり、北口君は2年連続の受賞(文学部)としての受賞は4年連続となりました。

【JRC部】

青少年赤十字代表団海外派遣 日本赤十字社愛知県支部代表(8月)

(参加者) 村瀬竜輝(5年)

砂田橋便り

ある方からフルベッキ著作の「日本プロテスタント伝道史―明治初期諸教派の歩み―」を紹介されて読んでみた。フルベッキはキリスト教禁教時代の幕末に来日し佐賀藩で抱え教師として働いた。大隈重信 副島種臣らに英語を教え、高橋是清など多くの人材に影響を与えた。後に文語訳聖書翻訳委員や政府の翻訳顧問となる。さらに開成学校のちの東京帝大、学習院、明治学院の運営に尽力した。彼は維新後に来日したキリスト教諸教派(メソジスト派、長老派組合派等々)をまとめる役目も果たした。

この頃、名古屋にも多くの宣教師が訪れている。伝道の地として根付いた1879年(明治11年)11月にはマクレー宣教師(後に青山学院院長)が数名に洗礼を授け、組織化している。

「名古屋学院100年史」には、勿論のこと、創設者クライン夫妻が横浜に到着したことが記されている。前述の著作の中にも、1882年諸教派メソジストプロテスタント教会の報告として「1883年9月23日、F.C.クライン師夫妻がメシヨンに加わり、クラインがメシヨンの主任者に任じられた」と書かれている。クラインについての記述はこれだけだが、クラインを含む多くの宣教師たちの日本伝道に対する情熱工夫、そして葛藤困難清廉さが書かれており、熱心に市井の人々への伝道宣教がなされたことが記されている。

教派によって得意な宣教方法があり、母校のメソジスト派は印刷などのマスメディアを得意として、宣教と同時に宣教資金を賄っていたようである。また各教派は、それぞれメシヨンスクールを開学してゆく。当然であるがキリスト教の伝道宣教を主体とするものであることを記しておきたい。

創設者クライン氏の情熱を支えたものは「祈り」「召命」「委ね」であった。母校は創立以来、キリスト教主義男子校としてこの地に根付き、発展してきた。多くの祈りに支えられ英知が集い果立っていた。時流に阿ることなく、今後ともそのようにありたい。

「敬愛同窓会」専用ホームページにアクセスしてください。
<http://keiai.nagoya/>

「敬愛同窓会」専用ホームページが運用されております。同窓生のみならずはもうアクセスしていただけたでしょうか?メニューボタンにある「敬愛同窓会機関誌」をクリックすると、過去の「敬愛」第53号から第57号、そして「敬愛」第58号(本号)のダウンロードができます。

また、従来同様に名古屋中学校・高等学校のホームページ(<http://www.meigaku.ac.jp/>)からもアクセス可能です。

過去の号を読み逃した方は、ぜひ一度ご覧ください。

各種証明書の発行につきましては、本校ウェブサイト上の「証明書の発行について」をご確認ください。ご希望の発行を申し込みます。

各種証明書の発行につきましては、本校ウェブサイト上の「証明書の発行について」をご確認ください。ご希望の発行を申し込みます。

各種証明書の発行につきましては、本校ウェブサイト上の「証明書の発行について」をご確認ください。ご希望の発行を申し込みます。

各種証明書の発行につきましては、本校ウェブサイト上の「証明書の発行について」をご確認ください。ご希望の発行を申し込みます。

各種証明書の発行につきましては、本校ウェブサイト上の「証明書の発行について」をご確認ください。ご希望の発行を申し込みます。

各種証明書の発行につきましては、本校ウェブサイト上の「証明書の発行について」をご確認ください。ご希望の発行を申し込みます。

平成29年度敬愛同窓会 関東支部総会が開催される

平成29年度敬愛同窓会関東支部は、10月6日(金)18時30分から第一ホテル東京にて第40回同窓会を開催した。参加者は安井俊夫敬愛同窓会会長はじめ、敬愛同窓会、名古屋学院から来賓が6名、社会人出席者が19名、関東地区在住の大学生13名、計38名となった。

為下透(昭51)の司会のもと、総会に先立ち物故者を偲んで黙祷、森田祐二校長による祈禱があり、総会を開始した。野村晶支部長(昭39)、安井俊夫会長(昭31)、森田祐二校長の挨拶、来賓の紹介があり、議案審議に移った。議案審議では平成29年度事業会計報告と浅井威厚監事(平14)による監査報告があり、異議なく、全会致で了承され、総会は終了した。

第二部の懇親会の前に全員の集合写真を撮影した後、太田大吾(平11)の司会で懇親会に移った。懇親会では林直清筆頭顧問(昭36)から横田喜三郎氏、三鬼陽之助氏、高山成雄氏等の大先輩によって敬愛同窓会が支えられ、導いてくれたことを想い出を交えて紹介された。あいさつの後、年長の中野和彦(昭39)の音

敬愛同窓会関西支部 関西在住の同窓生の皆さん、 同期会をしませんか？

敬愛同窓会関西支部では毎年、同窓会本部・学校より来賓に御来阪いただき支部総会を開催致しております。名古屋地区では、同期の方が御集まりになる同期会が定期的に開催されていますが、関西地区では同期会を開かれるほど、同期の方が居られませんが、その機会も少ないと思います。

そのような方々は、関西支部総会を同期会の場として、同期の方々と連絡を取り合っ是是非御参加下さいませよう御案内申し上げます。関西在住の同期の方々の消息をお知りになりたい方は、後記までお尋ねください。

頭で乾杯をして歓談に移った。しばらく食事しながら歓談し、来賓の先生方から自己紹介、学院の現状などの紹介をいただき、社会人の出席者からは学生の出席者に向けて各人の経験からどのような学生生活を送ってもらいたいかなど激励の言葉が続いた。学生からは自己紹介と将来の希望、人生の抱負などが語られ、交流を深めた。最後にグリークラブのOBで現在も合唱を続けている中野和彦(昭39)の発声で校歌「希望羽ばたく」

「曙の空」を全員で斉唱し、内田仁(昭43)からの締め言葉で次回の再会を約して閉会した。(中野和彦昭39年卒)



■関東支部総会出席者名簿
来賓
中学 高等学校長 森田祐一
中学校 高等学校教諭 廣岡直太
同窓会会長 安井俊夫(昭31年卒)
事務局長 大高信二(昭和47年卒)
理事 高橋 治(昭和51年卒)
阿知波清久(昭和53年卒)

前中学校高等学校校長 高橋 潤
関東支部委員
林直清(昭和36年卒)
野村晶(昭和39年卒)
木俣賢二(昭和39年卒)
内田仁(昭和43年卒)
井出 秀(昭和47年卒)
為下透(昭和51年卒)
小笠原大介(昭和53年卒)
川口勝弘(昭和54年卒)
菊池 浩(昭和61年卒)

太田大吾(平成11年卒)
生駒将之(平成11年卒)
三浦晃照(平成11年卒)
山田季生(平成11年卒)
浅井威厚(平成14年卒)
福垣史彦(平成17年卒)
広瀬利次(平成17年卒)
浅井政厚(平成19年卒)
加賀谷優歩(平成28年卒)
門田 健(平成28年卒)
安藤翔朗(平成29年卒)
安藤輝明(平成29年卒)
岡田朋也(平成29年卒)

昨年、10月13日(金)に、心斎橋の中華料理店「大成閣」で開催し、同窓会本部より同窓会会長安井俊夫氏、名古屋学院理事長丹羽太一氏、同窓会監事の小林喜男氏、名古屋学院教諭の石川昇氏、同窓会事務局長の大高信二氏、同窓会理事の阿知波清久氏に御参加いただきました。

支部の会員の出席者は、左記の通りでした。

- 会員参加者
- 大河 慎(昭和32年卒)
 - 河合 謙(昭和32年卒)
 - 齊藤豪己(昭和32年卒)
 - 杉本敏郎(昭和32年卒)
 - 佐藤卓司(昭和33年卒)
 - 山下昭春(昭和34年卒)
 - 奥村重和(昭和39年卒)
 - 松澤健三(昭和39年卒)
 - 竹谷敏朗(昭和42年卒)
 - 金剛 龍(昭和45年卒)
 - 服部 諭(平成17年卒)
 - 見山駿介(平成29年卒)
- (敬称略)



平成30年度関東支部総会のご案内

日時 2018年10月5日(金)
18時15分～21時10分
会場 KKRホテル東京
会費 社会人 8000円
大学生・専門校生 3000円

●問い合わせ先
関東支部支部長 野村晶
(携帯電話・090-35432089)
出席者の皆様に自己紹介、人生の抱負、経験について語っていただきたいと思っは是非とも多くの同窓生の皆様の参加をお待ちしております。

平成30年度関西支部総会のご案内

日時 2018年10月12日(金)
18時00分より
懇親会/18時30分より
会場 大阪心斎橋中華料理店「大成閣」
会費 社会人 7000円
学生 5000円

支部の会員の方々には、9月頃に御案内致しますが、今から御予定頂きたくお願い致します。
名簿の不備で御案内が漏れる場合も考えられますので、左記にお問い合わせ下さい。

●問い合わせ先
〒5580032
大阪市住吉区遠里小野5-8-21
敬愛同窓会関西支部「齊藤豪己」
TEL 0666937145

人に「素敵」を。

NTP 名古屋トヨペット

本社/〒456-8555 名古屋市熱田区尾頭町2番22号 定休日/毎週月曜日(祝日の場合は営業いたします)
営業時間/ショールーム・U-Car・点検整備 朝10:00～夜7:00(サービス受付は夜6:30まで)
お客様相談センター/0120-081-567 パソコンはこちらから [NTP](#) [検索](#)

NTP 名古屋トヨペット公式アプリ

GPSで現在地近くの店舗が検索できます。

App Store / Google play

Facebookもチェック

名古屋トヨペット公式Facebook

LINE 名古屋トヨペットからイベント情報をお届けします!

今すぐ登録

ぜひ、「友だち追加」してください。

Joy of Design

デザインするよろこびを

sangetsu 株式会社サンゲツ www.sangetsu.co.jp

年次会だより

昭和29年度卒業 C組クラス会

風やわらわらく三月三日の雛の祭の日、名鉄ランドホテルで名古屋高等学校「昭和29年度卒業C組クラス会」が開かれた。十四人の学友が久々に顔を合わせ、思い出話を忘れた。戦後建てられた木造校舎で若さを発散させた青春の一ページ。多くの先生方から受けた薫陶によって今の自分があると改めて思う。近況報告では、人生の荒波を乗り切り穏やかな晩年を迎えたささやかな幸せを皆々口にしていた。歓談2時間。来年は大半が亥の年

の年男。再会を約し、鈴木巖さんの発声で学院の発展と各自の健勝を願って万歳を三唱した。
今回は平成三十一年三月一日を予定。

風光る まだまだ若き 八十路かな
(阿部繁弘記)

昭和32年卒傘寿 記念同窓会

平成30年2月3日土曜日に傘寿記念同窓会を2部制で企画し、1部は母校見学、2部は懇親会をいたしました。

1部の母校見学には森田祐二校長より学校の近況及び校舎のご説明をいただき、最後にチャペル前にて記念写真。2部は会場を北区「魚鉄」に移し、魚鉄の節分料理に舌鼓を打ちながらの和気あいあいとした時間を過ごしました。

当日の同窓出席者／20名

- A 木下嘉夫
- B 石黒三郎
- B 斉藤豪己
- B 大和一成
- B 渡邊泰彬
- C 稲葉晃男

- C 齋藤明彦
- C 梶田浩三
- C 杉本敏郎
- D 伊藤晏義
- D 小川進吾
- D 河合 禎
- D 佐渡山安彦
- D 戸田暢茂
- E 阿部美男
- E 榑田守陵
- E 北村和彦
- E 後藤 猛
- E 寺島久継
- E 樋江井誠

来賓／4名

- 鈴木拓先生
- 安井俊夫敬愛同窓会長
- 丹羽太一名古屋学院理事長
- 大島信二敬愛同窓会事務局長

尚、發起人会では、今回の傘寿記念同窓会を最後に32年卒同窓会の開催をこれ以降終了する予定でした。しかし、参加者よりの熱いエールの結果、今後も傘寿プラスαとして

開催する事と
いたします。是非とも出席を
お願いします。
(渡邊泰彬記)



草野法律事務所

- 弁護士 草野勝彦 (昭38年卒)
- 弁護士 平野好道
- 弁護士 丹羽正明
- 弁護士 河合伸彦
- 弁護士 古賀照平
- 弁護士 服部祥子
- 弁護士 上山晶子

〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目20番25号 広小路YMDビル7F

TEL 052(203)5305



春日井店

<http://www.shimizuya.co.jp>

清水屋

- 春日井店 春日井市瑞穂通5-33 TEL(0568)81-6151(代)
- 小牧店 小牧市郷中一丁目-263 TEL(0568)76-5770(代)
- 犬山店 犬山市犬山字南古券166-14 TEL(0568)62-1151(代)
- 比7福山店 岐阜県高山市西之一色町3-1135 TEL(0577)35-2201(代)
- 藤ヶ丘店 名古屋市守山区森孝東1-509 TEL(052)773-1515(代)
- 中津川店 中津川市淀川町3番8号 ルビットタウン中津川店内 TEL(0573)62-7001(代)

昭和41年卒年次会

昭和41年に名古屋高校を卒業してから、はや52年が経っていました。52年と一口に言っても、砂時計がサラサラと止まることなく流れ、気付けば「古稀」を迎える年になっていた状態です。その間、個々のグルーブの集まりはあつても、「年次会」は一度だけでした。

「古稀を記念して年次会を開こう」と自然に声が上がリ、数人の言い出しっべの協力を得て開催の運びとなりました。文字通り、八方向を尽くして住所、連絡先を調べましたが同級生の十分の一にあたる50名ほどにしか案内状を出すことができませんでした。その結果、出席者・恩師 浜田兼平先生、大野多喜二先生 同級生 23名 合計25名
日時／平成29年10月8日(日) 11時より
会場／一次会場 鶴舞「気晴亭」
加藤勝彦君の店

二次会場 金山「楽笑」
河野一弘君の店

第二校歌で始まりました。お二人の恩師は記憶も容姿もすっかりとされ、衰えを感じさせません。同級生の中には襟に校章を付けている人もいます。52年ぶりの再会となる人もいましたが、恩師と共に盛り上がった愛校祭、2時間目の後の早弁タイム、クラブ活動の裏話、砂田橋市場の衣だらけの10円の串カツなどの話にたちまちの内にタイムスリップし、楽しかった頃に帰ることができました。そして同級生の笑顔や会話に、それぞれの道での努力、苦勞をして現在に至った人生の重みを感じました。

最もうれしかったことは、出席者全員が、我が学舎「名古屋学院」に愛情と誇りを持ち続けていることです。まさに、「星は移れど敬愛の 心は変わらぬ 我らの願い」です。

最後に「これからも数年に一回開こう」ということで意見が一致し、お開きとなりました。

なお、葉書の届かなかった方は吉田正臣君(090-31508416)まで、「二報ください。」
(村田格一記)



1967年(昭和42年)卒業のみなさまへ

「満70才記念同窓会のお知らせ」
日時／2018年9月9日(日)
受付 12時30分～
乾杯 13時

会場／アパホテル(名古屋錦)EXCELLENT
名古屋市中区錦3-16-30
※東山線・名城線「栄駅」(2番出口)
徒歩1分
会費／8,500円(当日入口にて受付)
(横井慶雄記)

名古屋学院高校69卒卒業50周年記念同窓会

今年「平成」も最後の年になります。我々昭和44年卒業組も今年で50周年を迎えます。ビートルズ全盛期の真っ只中に青春を謳歌し、「ジョン・バエスの『We Shall Overcome』」希望を見出し、JUNやVANで身を固めた当が懐かしい。

砂田橋で出会った多くの名中高ボーイとの再会を期待します。

【50周年記念同窓会】

日時／平成30年10月27日(土)

18時～20時(17時30分受付)

場所／名古屋カーデンパレス

(名古屋市中区錦)

052-957-1022

会費／1万円(左記へ振込み)

*振込み手数料金は、負担願います。

振込み先・三菱UFJ銀行

尾張新川支店 普通

口座番号・0112801

口座名・後藤憲政

呼びかけ人

69卒代表・安井喜秀

石黒正造(同窓会評議員)

石原秀俊

後藤憲政(同窓会評議員)

近藤高司

近藤三夫

田嶋伸一郎

為下繁美

津田鎮福

寺島秀明

豊島裕光

羽田大輔

与語史生

問合せ先

後藤憲政

(事務局)

〒452-0943

清須市新清洲2-4-8

携帯・090-6099-5487

Eメール norimasa.goto@yahoo.co.jp

*年次同窓生のフェイスブックを開設しました。

Nagoyagakuin high school 69's

graduate member



OkURAYA
OK印 **大藏屋**

創業1919年、学校指定制服専門店

栄店 名古屋市中区錦3-14-15 オークラビル3F 西店 名古屋市中区上名古屋4-18-23

お問合せ先 TEL: (052) 528-5502

詳しくは: <http://www.ookuraya.jp>

一社歯科クリニック
院長 丹羽太一 (昭41卒)



〒465-0095名古屋市中東区高社2-110
☎(052)774-4582

昭和51年度高校2年I組 （円鏡組） クラス会（昭和53年卒）

定例となりました5月と11月の年2回のクラス会、第12回目を平成29年5月20日に、13回目を11月11日に行ないました。

同窓同期の岡昭伸さんのお店（和食処おか）に担任だった鬼塚先生も御参加頂き同級生が集い、和気あいあいと思いで話、母校の今昔物語等に花が咲きました。

今回は平成30年5月に開催します。この記事をご覧のクラスメイトの皆様、是非ご連絡下さいませ。

お世話になった先生方、一緒に学び遊んだ同期の方々の参加も歓迎いたします。

●連絡先／三島育人

（昭和51年度高校2年 I組クラス会幹事）

09034429082

Eメール i-nishima@sinto.co.jp

（三島育人記）



第12回クラス会



第13回クラス会

平成8年高校卒同窓会

平成29年7月1日、名古屋観光ホテルにて平成8年高校卒の同窓会を開催。

出席者は、恩師の藤村宏明先生、鬼塚隆樹先生、石川昇先生、李仁成先生、阪口真光先生、猪子圭交先生、来賓として安井俊夫同窓会会長、大島信二同窓会事務局長と元学院長の西村清先生の御出席を賜り、同窓生は60名の参加にて盛大に執り行いました。

会は、西村先生による祈りと讃美歌から来賓の先生の挨拶を頂き、卒業してから22年が経っているが、学校生活にふと戻るようなそんな感覚になり懐かしく感じました。その後は、歓談となり集まった同窓生、先生を囲んで思い出話に花が咲きました。

今回は、5年後か10年後くらいにまた同窓会が開けたらとの思いと今回のために幹事や中心になつて集まるように声を掛けてくれた友たちに感謝。

（代表幹事

齋藤武司記）



卒業生の著書

「ナンバーワンへの挑戦」

（ホシザキ・中部経済新聞社）
坂本精志さん（昭和30年卒）

中部経済新聞のマイウチ欄に連載され、単行本化が待たれていた坂本精志さん（ホシザキ株式会社社長）の自伝。
ペンマークの付いたホシザキの製品は今日では飲食店に行けば必ず目に触れる存在。ホシザキ発展の起爆剤となった製氷機は坂本さんが慶応大学卒業後、初めてのアメリカ視察でヒントを得たもの。アメリカ視察では名中時代から鍛えられた英語が大いに役に立ったそうだ。

著書の中ではホシザキの創業時代から世界的企業への発展に至るまでが興味深く綴られている。中学高校時代のエピソードも記され、読み進むのが楽しくなる。最終章には「坂本語録」がまとめられている。「伸びている業界は、皆が注目しているのが難しい、儲からない」と企業人には示唆に富むヒントが溢れている。
残念なのは非売品なので書店では入手できない。同窓会事務局で読むことができる。

「ホースマン」（山梨日日新聞）

石黒健吉さん（昭和40年卒）

2018年1月11日付中日新聞朝刊「みんなの本」でも取り上げられた。馬術部OB、立教大学卒。1976年モントリオールオリンピック出場。2002年釜山アジア大会日本代表監督として総合馬術団体金メダル獲得。愛する馬と共に世界を駆け巡った石黒健吉さんが半生記を綴った。

中学時代からの馬術のライバルだった竹田恒和さん（日本オリンピック委員会会長）が献辞を寄せ、「馬術の選手だけでなくスポーツを愛する方々に多くの気づきを与える。2020年東京オリンピック、パラリンピックを目指す選手への応援歌となる」と記している。

「車イスホスト」（双葉社）

寺田ユースケさん（平成21年卒）

足にハンディのある寺田さん、信じられないかも知れないが、在学中は硬式野球部に所属したスポーツマンだ。関西学院大学卒業後、お笑い芸人を志し吉本興業NSCに入り芸人デビューを果たすが挫折。様々な人との出会いの中から、新宿のホストクラブに入店。「車イスホスト」になる。現役ホストを引退後は運営会社のオフィスに勤務。注目を集めることは「HELPUSSH」を開始して、車イスに乗り全国をチャイムを巡っている。また「HELPUSSH」には寺田さんの造詣、車イスで困ったときにそばにいる人に声をかけ押しもらって。簡単なようではなかなかながら、車イスの人が気軽に声をかけ、声をかけられた人は気軽に話す、そんな社会になることを願っている。
愛知県に来たときにはチャペルで講演し、後輩たちに感銘を与えた。ネットラジオのアイスタジヨキーンを活躍の場を広げている。

最高の品質とサービスを提供する 総合機械商社

宇部興産機械株式会社 日本無線株式会社
株式会社 栗本鉄工所 川崎重工工業株式会社
株式会社GSユアサ 三国重工株式会社
代理店



フルエング株式会社

取締役社長 神戸 剛(昭55年卒)

本社 名古屋市中区栄五丁目24番33号
☎ 052(262)7071(代)
東京事務所 東京都千代田区内神田二丁目11番6号
☎ 03(3275)8520



フットワークが活きる
名古屋の拠点

名古屋駅前桜通り・ユニモール11番出入口
キャッスルプラザ

〒450-0002名古屋市中村区名駅四丁目3番25号

☎ 052-582-2121(代表)

FAX 052-582-8666 http://www.castle.co.jp/plaza

赤ちゃんや小さなお子様でも安心
プロのすすめるカーペット
ノンホルマリンウッドカーペット



豊島綿業株式会社

代表取締役社長 大塚洋右(昭和50年卒)

本社 〒450-0002
名古屋市中村区名駅2-42-5
TEL 052-571-1301(代)
http://www.toyoshima-m.co.jp

クラブ同窓会だより

ラグビー部OB会「初蹴りOB戦」開催

毎年1月3日にラグビー初蹴りのOB戦があります。12時集合13時から試合です。今年、OBが100人近く集まり試合をしました。

現役も九州に遠征に出かけて今年も花園を狙っています。毎年ベスト4以上で花園と選抜に出場を狙っています。ラグビー部も今年創部60周年で60周年記念パーティー開催を予定して

おります。名古屋中学、高校ラグビーホームページで試合の報告と開催予定も提示しています。是非OBの方も参加してください。

平成30年度OB総会のご案内
5月12日土曜日14時、名古屋中・高の敬愛同窓会事務所前ロビーでOB会総会を開催します。

(田辺俊之・昭和49年卒 記)



柔道部OB会「創部105周年記念式典」開催

平成27年10月22日(日曜)台風が近づく悪天候の中、来賓に丹羽理事長、森田校長先生、安井敬愛同窓会会長、大島敬愛同窓会事務局長をお迎えし、また歴代部長先生、OB会員、現役部員を合わせて70名以上の参加をいただき

「名中・中高柔道部創部105周年記念式典」を名鉄グランドホテルにて開催いたしました。

祝賀会では久しぶりに会に参加いただいた方、遠方より参

加されたOBの皆さんが再会を楽しみました。また敬愛同窓会事務局長大島先輩よりプロジェクトを使用した「柔道部105年の歴史」の説明をいただきました。最後は校歌を歌い、盛り上がるの中閉会いたしました。

今年もOB会(第36回)を開催する予定です。どうぞ皆様お誘いあわせの上ご参加くださいますようお願いいたします。

OB会についてのお問い合わせは事務局水野までお願いいたします。

●連絡先/水野隆史(柔道部OB会事務局)
携帯電話
09042314070
(水野隆史・昭和61年卒 記)



野球部OB会有志の会開催

昭和、平成をしぶとく生き抜いて来た諸先輩の皆様、来年には平成も終わろうとしていますがいかがお過ごしでしょうか。



さて、去る平成29年11月11日に、第2回名古屋高校野球部OB会有志の会(昭和37年〜43年卒)が参加者12名にて開催されました。

会は始めに物故者に黙とう、中西代表の挨拶、長谷川氏の乾杯の音頭で歓談に移り、食事とアルコールを堪能し、2時間を超えて昔話に花が咲きました。また、参加者の皆様から3回、4回と続けていきたいという意見が多くあり、年に一度は集まろうということに決定いたしました。

元気で健康ならば、また、暇があるならば、是非参加をお願いいたします。次回については秋口にはご連絡いたしますので、それまでお元気にお過ごしください。

代表 中西 弘
世話人 星野 元

おかげさまで創業50周年



Human Rights Partner

～あなたに笑顔と安心を～

名古屋第一法律事務所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-18-22 三博ビル5F

TEL: 052-211-2236 FAX: 052-211-2237

URL: <http://daiichi-law.jp/>

弁護士 山本 律宗

(E-mail: r-yamamoto@daiichi-law.gr.jp)

中部地方
最大規模

弁護士
31名所属



お招きして
招かれて
なにかと
便利な都心
(栄)

栄駅8番出口
徒歩2分

名古屋国際ホテル

〒460-0003名古屋市中区錦3-23-3

TEL (052) 961-3111

<http://www.washingtonhotel.co.jp>

営業 長谷川友広(昭58卒)

活躍する同窓生

我が同窓生の活躍されている様子が、各方面から入っております。日本のみならず、世界にも雄飛した方もいらっしゃいます。

名古屋学院に入学すること ことで養われた信仰心

竹谷敏朗さん（昭和42年卒）

昭和四十年七月七日愛知文化講堂で愛知交響楽団の演奏会が行われた。私はホルン奏者の一人として舞台上上がり、アルルの女、未完成交響曲などを演奏している。高校一年の時であった。以来、高校卒業までいくつかの演奏会に出演している。種は小学生のころに植えられた。教会にバンドがあつて、その演奏を聴くのが好きだった。その教会に名高生がおられ、私が名中に入學した時に、音楽部

（オーケストラ部）に誘ってくれたので入っている。彼は私に楽器を渡し、教えてくれた。最初はピッコロ、次にホルンを吹くようになった。名中音楽部での活動が、私を大きな舞台に立たせている。

昭和五十五年の春、私は米国オレゴン州にある教会の講壇に上がつて、イースターカウンタータを聖歌隊の一員として英語で讚美した。神学校に留學中のことである。この時、私は主なる神の御業を讚めることに大きな感動を覚えた。留學を叶える為に、私はアルバイトする。何気なく応募したその会社の社長はクリスマスチャン。彼は私の志を知つて応援してくれた。留學後、彼に会うと、牧師の働きをしながら、私の会社で働いてほしいと懇願。数年後、彼は病の為に天に召され、会社が大混乱する。その時、神はその会社のために私を働かせ、彼の起した事業を某大企業の子会社に吸収させる道を開いてくれた。神は信じる者とともに働いて、最も適切な時に用いてくださることを、この時、私は確信する。

平成十四年秋、私は恩師の築いた活動を引き継いだ。彼が志し半ばで倒れたからである。その活動は今も続く。神が折々に必要な助けを確かに備えて守つて

竹谷

朗敏

いるからである。私は名古屋学院に入学することによつて、信仰心が養われたことを覚える。チャペルがあり、聖書の授業があり、クリスマスチャンの先生、先輩、同級生たちとの触れ合いが、豊かな人生へと私を導いてくれた。
(異文化理解研究推進会チャプレン)



あなたの見るを快適に！



すべての「見る」に、こたえを。

VISION CARE
キクチ



おいしいとみんな
笑顔になります。

HOSHIZAKI

ホシザキ株式会社 代表取締役会長 坂本精志（昭和30年卒）
〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館 3-16 TEL:0562-97-2111

ラグビー部の経験が 今に活かっています

石原卓児さん（平成3年卒）

（株）コメ兵の石原です。

在学中はラグビー部に所属し、高校3年生ではキャプテンもさせて頂きました。それゆえ私の高校生活の思い出と言えはラグビーです。



我々世代のラグビーボールは革製でした。試合球は言うまでもありませんが、練習球ですらピカピカになるまで磨き上げました。革製のボールが光るまでピカピカになるまで唾液をかけ軍手をはめ手で磨きあげました。試合、練習前のボール磨きで精神を鍛えたと言っても過言ではありません。コツコツ厭きずにボールを日々磨く。今振り返るとボール磨きが最も厳しかった気もします。

私が経営しているコメ兵は2017年に創業70周年を迎えました。70年前から「誰かの不要になつた物を換金し、必要としている人に安く供給していく、世の中に貢献しながら適切な利益を上げていく」これが現在につながるコメ兵商法の原型です。

毎日お客様から商品を買取りし、毎日買った商品の真贋をチェックし、毎日お客様に販売する商売です。商売「商い（あきない）、商売人は毎日あきずにコツコツ誠実に商いする事が成功の秘訣。一足飛びの成長などあり得ません。あきずにコツコツ誠実に毎日行う。」

石原卓児

「いらんものは米兵へ売ろう」のラジオ、TVCを20年間ほど放送していたお蔭で、中部地区の皆さんには知名度はありますが全国ではまだまだです。これからも大都市圏や世界に進出し、リユースのリーディングカンパニーとして、信頼して売り買ひのできる健全なリユース市場の創造に挑戦してまいります。

そして100周年、300周年企業目指し、コツコツ誠実に商売しつつ挑戦する姿勢を忘れず企業価値向上に努め、お客様に選ばれるコメ兵を目指していきたいと思えます。

卒業生の皆さんも「KOMETHYO」をご愛顧の程、どうぞよろしくお願い致します。

ヨコイピーナッツ株式会社

横井慶雄（昭和42年卒）

〒455-0034 名古屋市港区西倉町1番16号
TEL (052) 654-5555 FAX (052) 654-5550
e-mail info@yokoi-peanuts.co.jp

ご用命は家具の街 大須
笑顔でお手伝い

大須赤門 家具の
タカラ屋

代表取締役 林 宏一郎(昭和61年卒)

〒460-0011
名古屋市中区大須3-19-1 (赤門通り)
TEL (052) 241-1814
FAX (052) 263-0365
●営業時間/AM10:00~PM7:00

藤野俊之

私を教会に導いて くださった2人の先生

藤野俊之さん（平成4年卒）

早いもので、私が瀬戸永泉教会に導かれてから一昨年で30年を迎えた。紆余曲折がありながらここまで教会生活の歩みが守れたことに感謝したい。

私が名中の推薦入試を受けた時、面接でお逢いしたのが、澄田新先生だった。この先生なくして今の教会生活はなかった。何しろ教科が聖書であったこと、そして中1の担任の先生であったことがその証しだ。先生は、瀬戸永泉教会の説教奉仕をされたこともある。先生の口癖は『コツコツだ』だった。敬神愛人をモットーとする名古屋学院。聖書に『コツコツだ』という言葉はないが、日々コツコツ歩むことの大切さを聖書は示しているのではないだろうか。

もう一人の先生を紹介したい。横江功先生である。先生は私が中1の時に行われた修養会で聖書のことを熱心に教えてくださった。その修養会の後に、私は初めて瀬戸永泉教会の門をくぐった。今、横江先生は瀬戸永泉教会で文語聖書の会で先生として奉仕されている。私も毎回ではないが、この会に参加している。学院と大学を卒業した後、私は福祉施設の現場で試行錯誤しながら仕事をしている。何とか日々を乗り切っているのは、聖書の教えと、澄田先生の『コツコツだ』という言葉に支えられているからだ」と自負している。



アピティー あいち

代表取締役 川島浩二(昭和58年卒)

〒462-0011

名古屋市北区五反田町191番地

TEL 052-902-2001

名北会

鬼頭 宏(昭和48年卒)

紅白出場後、 ニューヨークに移住して10年

後藤和幸さん（平成5年卒）

2004年12月31日の大晦日、私は nobody knows + Sgt. Ton として NHK 紅白歌合戦のステージに立っていました。名古屋在住、芸能事務所にも所属していないヒップホップアーティストとして異例の出演依頼でした。高校在学時からクラブミュージックに興味を持ち、名古屋のラッパー先駆者としての活動が実を結んだ瞬間でした。一気に全国に名を知られ、全都道府県ワンマンツアーもしました。が、大きな波の言いなりになるよりも、変化を求め2007年脱退しまし

た。当時は思い切った選択をしたかとも思いましたが、今は想像していなかった幸せや経験を手に入れる事ができました。音楽業界もリセッション手前の時期だったので進路をかえるにはいい時期だったのかもしれない。

2008年にニューヨークに移住し、現在10年目になります。アメリカ、ニューヨーク州認定のマッサージセラピストとして、また二児の父親としてブルックリンで生活しています。しかし、忙しすぎる NY をそろそろ離れようと考えています。海外に出て分かる日本の長所や短所、住みなれたアメリカの良さ、家族の将来を考え日本も含めどこに移住しようか検討中です。何処かで会ったら声を掛けて下さい。誰も知らない変化を求めて。



後藤和幸



ラッパー、米国ニューヨーク州認定マッサージセラピスト。NHK紅白歌合戦に出場した唯一の卒業生。現在ニューヨーク、ブルックリン在住。兄の三幸さんは平成2年卒。清水口交差点西に古くからある八方寿司の大将。「敬愛」表紙にスケッチを描いていたく藪野健先生も長年の常連、名古屋に帰ると顔を出す。写真はたまたま帰国していた後藤さんと八方寿司の前で撮ったもの

榊原 洋平

ワシントンD.C. ;
国際法、名古屋高校

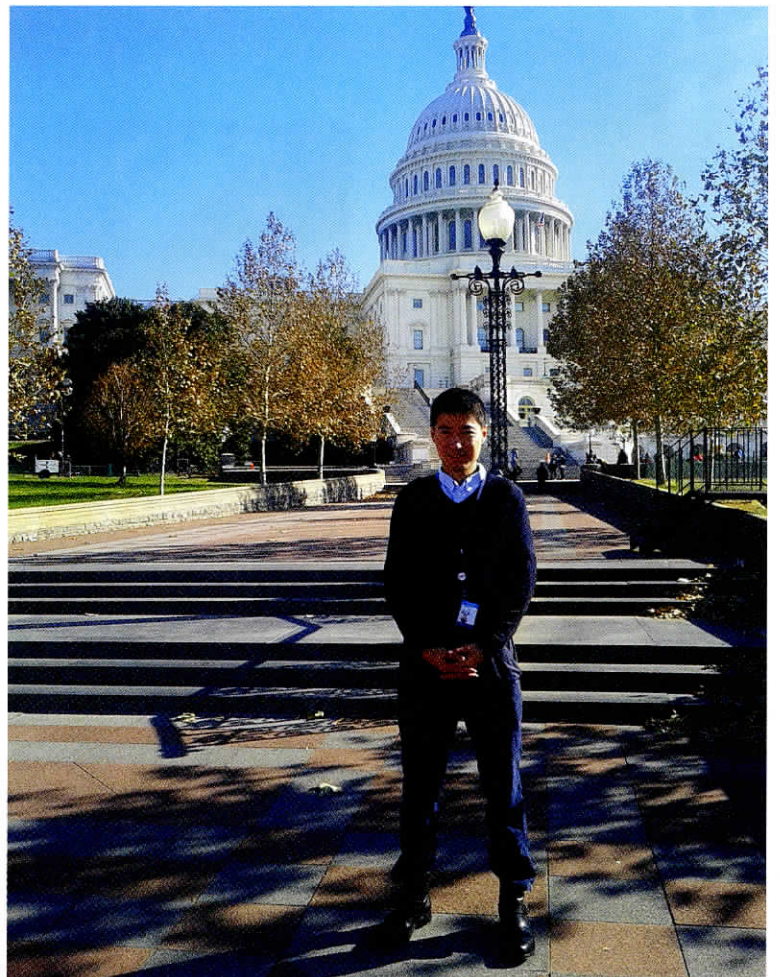
榊原洋平さん (平成15年卒)

留学のため米国の首都ワシントンD.C.に転出してから一年半が経過しました。都心で生活しているにもかかわらず、夏にはホテルが舞い、秋にはリスを見掛けることができます。毎年春には日米友好の象徴として日本から送られたポトマック川の桜が満開となり、街全体がその話題でもちきりになるなど、日本との縁が深い都市でもあります。

私は、愛知県半田市で生まれ育ち、平

成15年に名古屋高等学校を卒業しました。卒業後は上京して慶應義塾大学法学部・同法科大学院に学び、平成22年に司法試験に合格しました。翌年に司法修習生となり、四国・松山での実務修習を経て、平成24年に弁護士登録し、東京の法律事務所及び国際機関において執務しました。平成28年からは、二年間の予定で、ワシントンD.C.に所在する、ジョージタウン大学ローセンター(法科大学院)に留学しており、現在、修士号取得を目指して授業を履修する傍ら、アドバイザーとして国際法のロー・ジャーナル(法律専門雑誌)の編集に従事しています。

国際機関勤務、それに続く米国留学と、近年は国際法に接する機会が多くなっていますが、国際法と向き合うたびに、名古屋高校が思い出されます。それは、国際法の第一人者である横田喜三郎先生が旧制名古屋中学校(現名古屋高校)の卒業生でいらっしゃるからです。横田先生は、研究者として国際法学界をリードされるのみならず、昭和35年から同41年までの間、最高裁判所長官を務められ、裁判長として関与された判



決は、五〇年以上を経た現在においても、今なお判例として実務の指針になっています。

し烈を極めた大統領選挙、政権交代、新政権におけるこれまでにない政策の実施など、私がワシントンD.C.に転出して以来、様々な変化を变化の中心近くで目の当たりにしてきました。ただ、他方で、このような急激な変化の中にあるからこそ、時代が変わっても変わらないもの大切さを感じます。現在から五〇年以上も前の学説や判例が今なお指針であり続けているということは、時代の

変化に左右されず、はやり廃りのない、普遍的な要素を当時既に見抜いておられたからではないかと思えます。私は、いまだ修行中の身であるため、それが何であるか模索の途中にあります。将来の法律家人生を通じて、そのような視座を探求し、事件の解決に反映できるような精進してまいります。

「伝えたいこと」
感謝すること」
バレエで世界へ!!

太田寛仁さん (平成29年卒)

高校3年の夏から休学し、ワシントンD.C.とサンフランシスコで2年間のバレエ留学を終え、バレエ団オーディションが上手くいかず日本に帰国。復学か通信制の学校への転校を迷っていたところ、先生方の力強い後押しにより名古屋学院に復学。高校に通いながらオーディションを受け続けることになりましたが、あと1年でこのバレエ団にも入ることができなければバレエを辞めて大学受験をする覚悟でした。

卒業することだけが目的だった高校生活は、温かく迎え入れてくれた先生

方と2つ下のクラスメイト達のお陰で素晴らしいものになりました。

大学受験に燃える仲間と共に生活することは、オーディション活動に良い影響を与えてくれました。目標は違ったけれども、一緒に戦っていると感じさせてくれたことが大きな力となったのです。

また、自分を応援し、支えてくれる人に本気で応えたいと思うことが増えました。沢山の出会いに恵まれ、多くの人に沢山お世話になったことでそういった人達の存在をそれまでよりも感じ、改めて考えるようになりました。無事に卒業し、オーディションに合格できたのも、相談にのってくださったり応援や励ましの声をかけてくださった先生や、「先輩、先輩」と尊敬し親しくしてくれるクラスメイトがいつも近くにいるからこそです。9月から新国立劇場バレエ団で働いていますが、今もバレエ団の先生や先

輩、同期の仲間には助けられてばかりで感謝の毎日です。新国立劇場での公演を観て喜ぶ家族の姿を見ると、とても幸せな気持ちになります。当たり前のことかもしれないですが、誰よりも心配し、期待し、応援してくれている存在として意識し続けているからだと思います。

今は、バレエ

団でより一層活躍する事が自分にとっての感謝の表現方法です。練習や努力による自信だけでなく、支えてくれている人々への感謝の気持ちを常に忘れず、その積み重ねも成長する力とし、結果に繋がっていきたいと思います。


太田寛仁



人生の大きな区切り、第2の人生に向けた一冊を...

あなたの作品や体験を本にしてみませんか?

エッセイ、紀行文、写真、
短歌、俳句、自分史など

 **桜山社** 代表
SAKURAYAMA SHA 江草三四朗(平成9年卒)


〒467-0803 名古屋市瑞穂区中山町5-9-3

☎ 052-853-5678

✉ egusa@sakurayamasha.com

http://www.sakurayamasha.com

交通安全施設
製造・施工・販売

 **名阪興業株式会社**

大里 健二 (昭46卒)

大里 一郎 (平16卒)

本社
〒472-0007 愛知県知立市牛田町前田5番地の1
TEL (0566)82-8818 FAX (0566)81-1258
E-mail:meihan@crocus.ocn.ne.jp

名古屋支店
〒464-0833 名古屋市千種区大島町一丁目17番地
TEL (052)751-6400 FAX (052)751-6401



オアシス21店
愛知カンツリー倶楽部食堂

昔ながらの
変わらぬ味を
お届けして、早六十年





2015年度 名古屋高等学校卒業生 成人記念礼拝を開催

宗教部長 大藪博康

2018年1月4日(木)午後2時より、2015年度卒業生・成人記念礼拝が行われました。今年度は500名ほどの同窓生・保護者の方々と共に礼拝をささげることができました。

快晴の下、2時頃にチャペル前に集まり始めた同窓生が、友達との再会を喜びあう姿があり、話に花を咲かせていました。礼拝が始まると懐かしいような照れくさいような感覚で、ひさしぶりの讃美歌や校歌を歌い、主の祈りを唱えてくれました。母校の懐かしい思い出をめぐらしてくれているように思えました。

礼拝のメッセージでは小林光学院長が「希望を持つ秘訣」と題して語っていただきました。私たちには様々な希望があります。が、神様のご計画が成就するところに希望があると語っていただきました。人生には喜びも悲しみもありますが、すべては神様のご計画の下にあることを信じる生き方であればと思います。また敬愛同窓会会長の安井俊夫さんから式辞をいただきました。同窓生へ向けて「平和」「国際化」「友情(同窓生の絆)」という3つのキーワードを中心に語ってくださいました。これから急激に変化する社会の中で、一人一人が生きていくために、心に刻んでおくべき言葉だと思います。

礼拝後、年次会(同窓会評議員)のメンバー5人に一言ずつ挨拶してもらいました。この成人記念礼拝は同窓会のはじまりでもあると思います。年次会のメンバーを中心にして、よい同窓会がもたれますことを祈っています。そして同窓生の絆がこれからも続いていくことを願っています。

2015年度卒業生一人一人そして、保護者の方々に神様の祝福をお祈りいたします。



2016年度卒業生 成人礼拝開催予定

日時/2019年1月4日(金) 午後2時より

場所/クライムメモリアルチャペル

2016年度卒業生には別途葉書にて連絡いたしますので、皆さんお誘いあわせの上ご出席ください。

長久寺に移築された葡萄色の洋館

画：藪野 健
昭和37年名古屋高校卒、洋画家、早稲田大学栄誉フェロー・名誉教授
二紀会副理事長、府中市美術館館長、日本芸術院会員

名古屋英和学校創立3年後、明治23年、南武平町校地(現在の中区役所付近、広小路通り上)に西洋建築が姿を現した。当時は見物人できわうほどの美しい洋館だった。しかし、その後この洋館は数奇な運命を辿ることになる。

翌年10月28日、尾張地方に濃尾大震災が発生。名古屋では多くの家屋が倒壊したが、幸い校舎は屋根の一部のみの損傷であった。7年後の明治30年、広小路通りの東詰めにあつた洋館は、千種方面への道路の延伸工事に伴い、長久寺町へ移築されることとなる。笹島駅前から栄まで市内電車が開通したのもこの年だった。

校舎の移築は6月〜8月にかけて精力的に行われた。8月中旬には現在中京教会のある場所に移築された。周辺に宣教師館、寄宿舎なども建てられた。時代を自由に行き来する藪野画伯の手で蘇った葡萄色の校舎はこの時のものだ。時代を隔てて聞こえてくる生徒たちの声は画伯のイマジネーションが引き出したものだ。

百年史に掲載されている南武平町の校舎と長久寺の校舎の写真を比較すると興味深い。縦長洋風窓の罫戸はそのまま。ところが新築当時の洋館の屋根には4つの向唐(むこうから)破風と2つの暖炉用と思われる煙突が出ている。移築された校舎にはこれらのものが取り払われ、単純な切妻屋根に変貌した。

大正7年ころから名中の生徒数も安定し、校地の拡張、体育場の建設などが

始まった。

この洋館は道を挟んで北側の校地(現金城学院中学校校地)に移築され、増改築が繰り返された。しかし昭和に入り時代は暗転。創立当時の面影を残す校舎は昭和20年1月23日、3月19日、5月14日と3回にわたる空襲で炎上、焼失した。

米国メソジスト・プロテスタント教会の信徒たちの献金で建てられた校舎は55年後に米軍の空襲によって失われたのである。無謀な戦争の結末だった。戦後、米国の教会の信徒たちから再び送られてきた献金を財源として大幸校地が購入された。二度にわたる米国の信徒たちからの贈り物を私たちは記憶に留めなければならない。

昭和41年名古屋高校卒、名古屋中学校・名古屋高等学校 第十九代校長
文：秋重 泉



合金めっきのバイオニア

- 溶融亜鉛めっき
- 各種合金めっき
- 無電解ニッケルめっき
- 硬質クロムめっき
- ジオメット
- 樹脂塗装
- 精密板金・プレス加工
- 機械加工・切削
- 熱処理・研磨
- 溶接・溶断・曲げ加工

ADVANCED TECHNOLOGY

KOWA

株式会社 興和工業所

六車謙一(昭20卒)

六車壽夫(昭50卒)

本社 名古屋市瑞穂区二野町2-28
TEL 052-871-7151(代)

<http://www.at-kowa.co.jp/>

名古屋市事業系一般廃棄物収集運搬

株式会社
笹野運輸

笹野暢宏(昭61卒)
笹野将之(平26卒)

〒453-0849
名古屋市中村区稲西町216番地
TEL 052-411-9511(代表)
FAX 052-411-4466

リオ五輪総合馬術に出場、大岩義明さん「馬術の五輪代表同士で結婚」

総合馬術の大岩義明さん(平成7年生)は、2017年7月9日に障害馬術の武田麗子さんと神戸市内で結婚式を挙げました。2020年の東京五輪での夫婦同時出場を目指しているそうです。大岩さんは、「支えてくれた人に喜んでもらえるように」と決意を示したことも報じられました。



★馬術の五輪代表同士で結婚馬術でも五輪代表のオウガキが誕生した。総合馬術の大岩義明(左)と障害馬術の武田麗子(右)が白拍子で結婚式を挙げた。2人は欧州を拠点に技術を磨いており、2020年にドイツでの世界大会で知り合ったという。20年東京五輪では夫婦で出場の可能性もある。大岩は「もっともっと上に行くことで、支えてくれた人が少しでも喜んでくれる」と決意を示した。

中日新聞 2017年7月12日朝刊

PTA主催名古屋学院チャペルコンサート

毎年11月にPTA主催によるオーケストラ部、吹奏学も参加し『名古屋学院チャペルコンサート』が開催されています。クラシックやアンサンブルなど日ごころの練習風景が見てとれるような質の高い、熱のこもった演奏が楽しめる。ゲスト歌手のシヤンソンや、PTAクラインシスターズの方々による心のこもったコーラスも加わり、大いに盛り上がりしました。

桜の花や新緑に青々と照らされたチャペル、晴天の秋空に映えるチャペル、北風に吹かれながら威厳を持って立ち尽くすチャペル。在学中、いろいろな顔を見せてくれるチャペルでしたが、赤黄の木々に包まれたチャペルはしっかりと凛々しく美しかったです。コンサートを終えるとチャペル前の大きなクリスマスツリーに明かりが灯ってました。

森田祐二先生の校長就任を祝う会が行われました

平成29年4月23日(日)、アンナンブルー栄店にて「森田祐二先生の校長就任を祝う会」を開催致しました。

高校バレー部のスーパーバイザーだった柴田洋介先生、高校バレー部顧問の守屋博三先生にも出席を賜り、平成29年卒のバレー部OB9名が出席しました。

●出席者は次のとおり。(敬称略)

- 森田祐二校長先生
- 柴田洋介先生
- 守屋博三先生
- 安藤 淳 飯田 要
- 加藤陽一 蒲 博隆
- 鬼頭秀彰 服部賢三
- 二村仁志 堀場裕史
- 吉田 尚
- (鬼頭秀彰 平成29年卒)

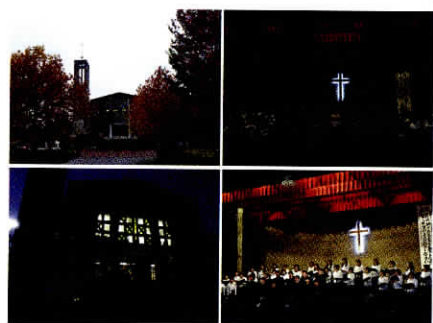


まるでグランドの生徒を見守るかなような柔らかな光りでした。

『敬愛』誌をお読みの卒業生の皆さん。先輩も後輩もホームカミングデーのつもりで、11月のコンサートに足を運んでみてはいかがでしょう。コンサートと併せて母校に見て触れて覗いてみてください。

きつと良きサプライズに微笑み、新しい母校の発見があると思えます。

(高橋 治、昭和51年卒)



久しぶりの母校、同窓会事務所を訪問

2017年11月20日
昭和33年卒の石井裕さんと阿知波義和さんの2名が母校と同窓会事務所へ遊びに来て下さいました。

2017年12月18日
昭和44年卒の後藤憲政さんが年次会の開催準備の為に同窓会事務所を訪れて下さいました。

2018年3月20日
昭和47年卒の清水豊さんが同窓会事務所へ遊びに来て下さいました。

2018年3月28日
昭和47年卒の金刺廣さんが同窓会事務所へ遊びに来て下さいました。



金刺 廣さん(右) 清水 豊さん 後藤憲政さん(右) 石井裕さん(左)、阿知波義和さん(中央)

★今後、同窓会事務所を訪問していただいた方々を順次ご紹介していきたいと考えています。

ご長寿同窓生

確認のとれているご長寿になられた同窓生の皆さんです。

- 浅野光夫氏(昭和18年卒) 大橋 清氏(昭和18年卒)
- 加藤富士夫氏(昭和18年卒) 加藤正雄氏(昭和18年卒)
- 鈴木友則氏(昭和18年卒) 兵藤正夫氏(昭和18年卒)

大臣表彰

昭和41年卒 村田格一氏 法務大臣表彰

供花の報

高橋基先生(昭和26年卒)
名古屋高等学校教諭(1957年~1991年)
2017年4月11日に体調が急変し救急搬送。懸命の治療のいかなく、翌12日に逝去されました。

名古屋学院大学同窓会50周年のお知らせ

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION



2018年に
名古屋学院大学
同窓会は
50周年を迎えます

名古屋学院大学同窓会50周年記念式典・記念祝賀会のご案内

開催場所:名古屋マリオットホテル(予定)

開催日:2018年11月25日(日)(予定)

※上記開催概要は予定です。 ※詳細につきましては、同窓会ホームページで告知させていただきます。

住所変更届けのお願い

名古屋学院大学同窓会では、毎年1回「会報」を発行しておりますが、住所不明による郵送物の返送がかなり発生しております。同窓会ホームページにて変更手続きをしていただくか、同窓会事務局までご連絡ください。



名古屋学院大学同窓会事務局

〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-19 キリックス丸の内ビル7階
TEL 052-212-9301 FAX 052-212-9302

支所 関東/三重/石川/富山/福井/岡山(中国/四国統括)

<http://ngudo.com>

会費納入のお願い

年度3千円 終身3万円

敬愛同窓会の維持発展に日頃ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成三十年度の会運営と母校の支援のため会費の振込みをお願いいたします。

「払込取扱票」同封の方は郵便局窓口もしくはATMから同窓会事務局あてにご納付下さい。会費は年度会費(年間三千円)か終身会費(終身三万円)の何れかを選択下さい。

年度会費、終身会費納付者芳名は永久保存簿に記録いたします。終身会費の一部を同窓会基金として別途積立て、同窓会独自の事業や在校生の育英資金に充てております。

敬愛同窓会会長 安井俊夫

ATMでの振込方法

会費

- 年度会費:3,000円
(平成25年度卒～平成29年度卒は免除)
- 終身会費:3万円
(既に終身会員の方は不要です。)

振込先

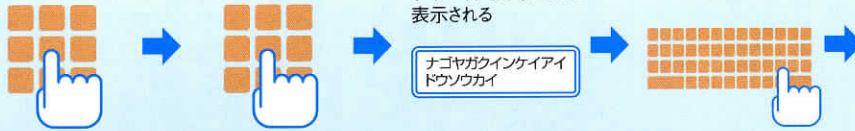
- 金融機関名:ゆうちょ銀行
- 店名:〇八九(ゼロハチキュウ)
- 口座種別:2 当座預金
- 口座名義:名古屋学院敬愛同窓会
- 口座番号:0038305

振込方法

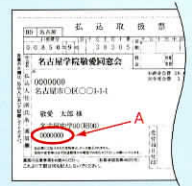
1. ゆうちょ銀行からゆうちょ銀行に振り込む場合

振込手数料 無料

- 1 「008509」と入力する
- 2 「0038305」と入力する
- 3 ナゴヤガクイン ケイアイドワンウカイと表示される
- 4 振込金額を入力する
- 5 事務局へご連絡 (052-722-2835)ください。



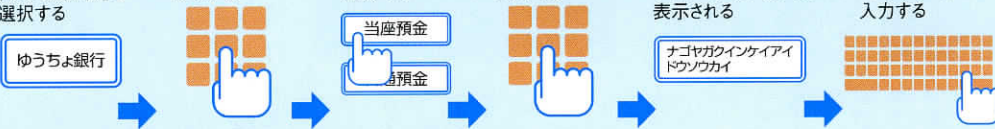
※ゆうちょ銀行の通帳またはキャッシュカードが必要です。 ※窓口でも振込可能です。



2. 他銀行からゆうちょ銀行に振り込む場合(ローソン・ファミリーマート等のATM)

振込手数料 あり

- 1 振込銀行「ゆうちょ銀行」を選択する
- 2 店名「〇八九」と入力する
- 3 「当座預金」を選択する
- 4 「0038305」と入力する
- 5 ナゴヤガクイン ケイアイドワンウカイと表示される
- 6 振込金額・名前・番号(A)*を入力する



※銀行のキャッシュカードが必要です。

* (A)は払込取扱票の
払込人住所氏名・
通信欄に記載されて
います。
(上記図を参照)

注意

「オレオレ詐欺」にご注意ください
愛知県警察本部から「名古屋高校卒業生、複数のご家族が今年になって被害にあっています。ご注意ください」との情報提供と注意がありました。「高校の卒業生名簿を利用し、息子を装い被害者に電話をしている」とのことです。
同窓生の皆様も悪質な「オレオレ詐欺」にはくれぐれもご注意ください。

同窓会会員に関する個人情報の取扱いについて

敬愛同窓会では、平成17年4月1日から「個人情報の保護に関する法律」が施行されたことに伴い、左記の方針に基づき同窓会員の個人情報の保護に取り組んでまいります。

1. 個人情報保護に関する法令等の遵守について
本会は、個人情報の取扱いに関し、「個人情報の保護に関する法律」(二)個人情報の保護に関する法律施行令、「個人情報の保護に関する基本方針(平成16年4月閣議決定)」、「学校における生徒等に関する個人情報の適正な取扱いを確保するために事業者が講ずべき措置に関する指針(文部科学省告示第161号)」等を遵守します。
2. 個人情報の使用目的
本会は、個人情報を次のために使用します。これらの目的以外に使用することはありません。
(1)会報「敬愛」の発送
(2)会費納入のお願いの文書の発送
(3)総会(支部総会を含む)・年次会・評議員会等の開催通知の発送
(4)本会および学校法人名古屋学院 同法人が設置する名古屋中学校名古屋高等学校を含む、が行う各種事業及び行事に関する文書の発送
3. 個人情報の第三者への提供について
本会は本人の同意を得ている場合及び法令等に定める場合を除き、会員の個人情報を第三者へ提供することはありません。
4. 本会は、前条の(1)(2)の発送のために、必要な範囲内で個人データの取扱いを外部に委託することがありますが、当該委託にあたっては、委託する個人データの適切な取扱いが確保されるための契約を締結します。
4. 個人情報の管理方法及び漏洩等の防止について
本会は、保有している会員の個人データが盗難・不正アクセス等により外部に漏洩することのないよう管理に万全を期します。
5. 「会員名簿」の発行について
今後の「会員名簿」の発行については、この法律の施行に伴い、今後、慎重に検討してまいります。

発行

敬愛同窓会

〒461-8676 名古屋市東区砂田橋二丁目1番58号(名古屋学院内) 電話 052-722-2835 FAX 052-722-2838
事務局長/大島信二(昭和47年卒) 事務局員/蒔田みずゝ、中村利矢子

名古屋学院

名古屋中学校 名古屋高等学校

〒461-8676 名古屋市東区砂田橋二丁目1番58号 電話 052-721-5271 <http://www.meigaku.ac.jp/>